

# 富士川治水事業の効果

～平成26年10月(台風18号)の大雨～



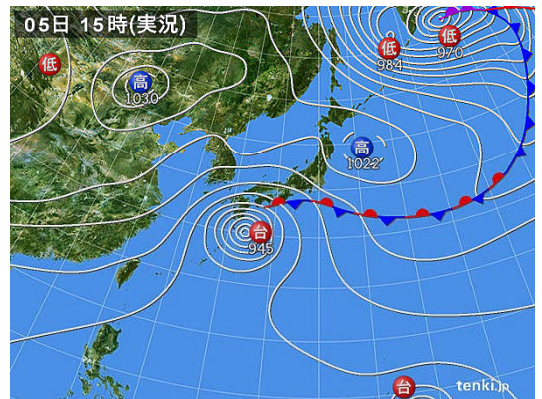
国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所 平成26年10月9日

台風18号は、強い勢力を維持したまま、潮岬の南を  
 通って、10月6日8時過ぎに静岡県浜松市付近に上  
 陸しました。その後、台風は、速度を速めながら東海地  
 方及び関東地方を北東に進みました。

台風と本州付近に停滞した前線の影響で、東日本の  
 太平洋側を中心に大雨となりました。また、沖縄地方と  
 西日本・東日本の太平洋側を中心に暴風となりました。

富士川流域では、10月6日10時までの累加雨量は、  
 下流部を中心に累加雨量で300mm以上の大雨となり、  
しみずばた まつおか  
 清水端、松岡の各水位観測所で氾濫注意水位を超  
 過しました。

## ■天気図(10月5日15時)



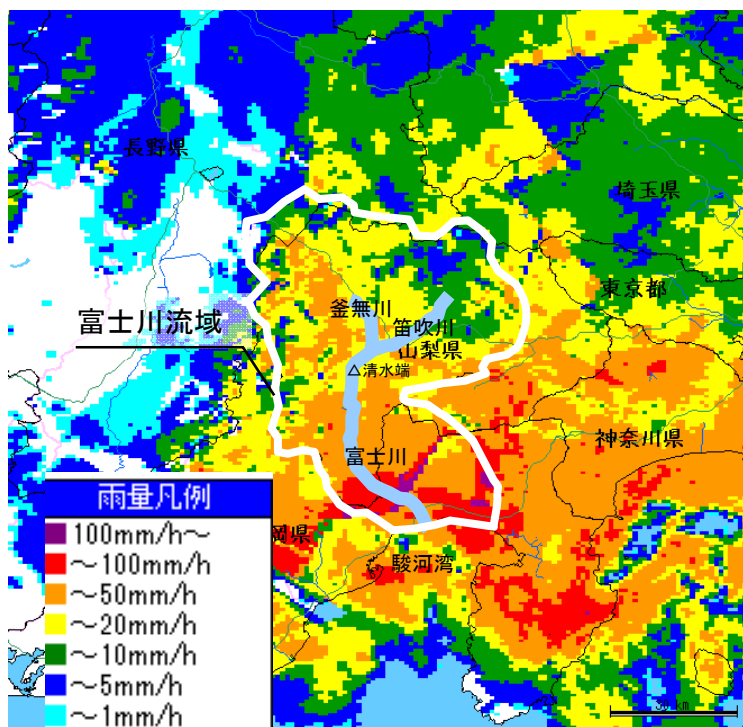
日本気象協会HPより

## ■全国の一般被害状況

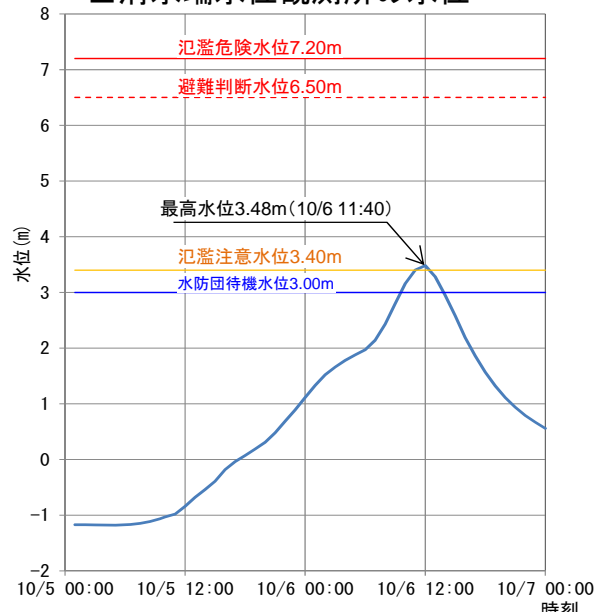
(消防庁災害対策室10月7日17:00現在より抜粋)

死者(人)	3
行方不明者(人)	2
負傷者(人)	71
床上浸水戸数(棟)	173
床下浸水戸数(棟)	624

## ■レーダー雨量分布図(10月6日8:35)



## ■清水端水位観測所の水位



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

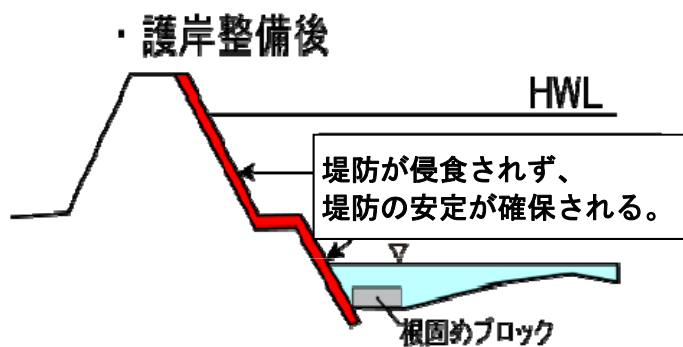
## 護岸整備により侵食を防止！

- 富士川は急流河川で流速が早く、小規模な出水でも堤防や河岸を急激に侵食される恐れがあるため、堤防の法面に護岸の整備を行っています。
- 今回の洪水では河岸が侵食する被害は発生しませんでした。
- 歴史的治水施設である聖牛により流速を弱める効果がありました。

### ■護岸設置による効果



平成15年8月洪水 南アルプス市藤田地先<sup>とうた</sup>  
 今回の洪水と同規模の洪水時に、河岸に向かう流れが発生し、河岸侵食が発生しました。



今回洪水(台風18号) 身延町飯富橋下流<sup>みのぶちよう いいとみ</sup>  
 H26年10月6日 9:55  
 護岸設置により堤防の侵食を防止しました。

### ■歴史的治水施設の設置による効果



平常時 <sup>しんげんづつみ</sup> 信玄堤CCTVカメラより  
 信玄堤の河岸に歴史的治水施設である聖牛を設置しています。

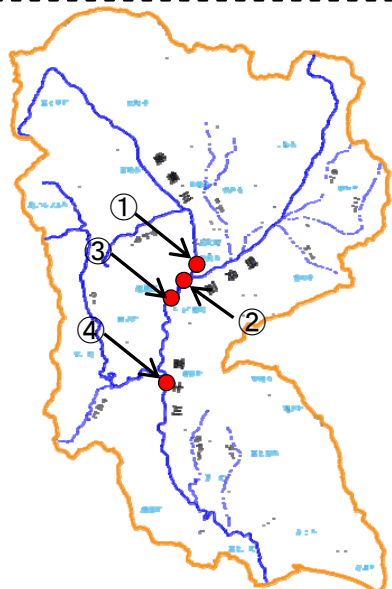


聖牛により  
 流速を弱める効果

平成26年10月台風18号 信玄堤CCTVカメラより  
 H26年10月6日 10:40  
 今回の洪水では聖牛により流速を弱める効果がありました。

## UAVによる河道状況の把握

OUAVにより迅速かつ広範囲に洪水時の河道の様子を撮影することで、侵食状況の把握も行いました。



①山梨県中央市今福新田 上空  
(平成26年10月6日 14:31)



②富士川大橋(山梨県富士川町増穂)上空  
(平成26年10月6日 13:27)



③峡南橋(山梨県中央市今福新田)上空  
(平成26年10月6日 12:15)



④富山橋(山梨県身延町波高島)上空  
(平成26年10月6日 11:35)

氾濫発生時には浸水区域の面的把握も可能となります。  
今後も、UAVを活用し、侵食状況や浸水状況の把握に努めます。



今回の洪水時に使用したUAV

UAV: Unmanned Aerial Vehicle・ Unmanned Air Vehicle と呼ばれ、無人航空機を指します。

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。